

四月

日本の学校で働いている人たちの全員が、とても忙しくなる月が4月である。なぜなら、日本の学校のカレンダーは4月に始まるからだ。わたしは非常勤講師として週5日、複数の学校で授業を行っているので、新たな授業をスタートする4月は、とても緊張する。つい先月に英国で過ごした日々が遠くに感じられるほど、毎日が授業と授業の準備で忙しい。そして更に、ブリティッシュ・カウンシルの英語の授業を週に4.5時間受講しはじめたので、宿題にも追われている。

1日があと2時間でも余分であれば、どんなにいいだろう。

先日、仕事の後に英語の授業を受けて帰ってきたら、玄関の前に細長い荷物が立てかけてあった。ラベルには見慣れたマキシーンさんの字が書いてあった。

この荷物のたたずまいには、空間のひずみを通してストンとここに落とされた様な風情があったので、英国での日々を過ごしたチェスターが、とても近くに存在しているように感じられた。できるだけ速く安全に布のロールが届くように、とのマキシーンさんの心遣いがとてもうれしかった。

次に英国に行くまでに、届いた布を用いて、作品のパーツを制作しなければならない。4月の終わりから5月の始めにかけての連休に、とりかからなくては。

4月から5月にかけては、このプロジェクトに参加しているアーティストたちの多くがコラボレーションを始める時期でもある。英国から日本に来た最初の

アーティストAnniken Amundsenさんには、彼女が来日した翌日に、京都で行われた日本と英国の工芸関係者の交流イベントでお会いした。近いうちにどこかでまたお会いできるのではないかしら、と楽しみにしている。